

事務事業名		除雪機械整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共維持G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(12)道路の整備		担当者名	狩野久志	電話番号	0854-40-1063
	目的:対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		(内線)	2473
	基本事業名	(035)道路の維持管理		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	除雪施設等整備事業	
目的:対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。		項 目 中事業 中事業名	除雪機械整備事業	
				0 1 4 0 0 2			
				1 0 3 0 0 2			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
効率的な除雪体制を確保するため、除雪機械の導入を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		導入機種、管理体制等について入札の実施、検査、精算、納車	導入なし			
		・除雪用タイヤドーザー11t級 1機 ・除雪用タイヤドーザー8t級 1機 ・小型除雪機 2機				
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	タイヤドーザー8t級導入台数	機	2	0	1	0
イ	タイヤドーザー11t級導入台数	機	0	0	1	0
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
	①生活道路 (除雪対象路線) の利用者 ②生活道路 (除雪対象路線) ③雲南市道除雪を目的とする除雪機	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	37,794	37,012	36,248	37,004
		イ	除雪対象路線延長	km	705	705	705	705
		ウ	除雪機導入台数	機	3	0	2	0
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)		
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②除雪による生活道路機能の維持管理 ③円滑な除雪のため導入する	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	37,794	37,012	36,248	37,004	
	イ	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	69.2	59.5	63.3	63.3	
	ウ	除雪機導入台数	機	3	0	2	0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
・除雪用タイヤドーザー11t級(1機)17,765千円 ・除雪用タイヤドーザー8t級(1機)12,870千円 ・小型除雪機(2機)1,228千円 手数料523千円、保険料23千円	財源内訳	国庫支出金	千円	29	0	20,423	0
		県支出金	千円				
		地方債	千円	18,988		10,800	0
		その他	千円				
	一般財源	千円	33,700		1,186	0	
	事業費計 (A)	千円	52,717		32,409		
	地方債: 合併特例債	人件費	正規職員従事人数	人	1		1
延べ業務時間			時間	60	0	60	
人件費計 (B)		千円	245		254		
トータルコスト(A)+(B)	千円	52,962		32,663			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・建設業者の減少や縮小に伴い、除雪機械保有台数は合併時と比較すると約30台減っている。	・平成29年度除雪機3台、小型除雪機4台、平成30年度小型除雪機2台、令和元年度除雪機2台、小型除雪機2台を購入し、除雪体制を強化した。	・市民、議会から豪雪時や除雪作業について、迅速な対応を図る除雪体制の強化を求められている。

事務事業名	除雪機械整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・隔年での導入計画を立てているが、業者数の減少や縮小に伴う機械台数の減少により、除雪機械が不足する場合は、市で除雪機械導入を検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・業者数の減少や縮小により、除雪機械台数の減少が見込まれる中、事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。 ・緊急車両等が目的地に到達しない可能性がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		・統廃合できる事業はない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・業者保有台数が減少する中、市所有の除雪機械を増やさなければならず、削減の余地はない。 ・競争入札を行っているため、これ以上の単価削減も困難である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・市として必要な除雪機械の導入であり、委託はできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		・受益者は、不特定多数の道路利用者のため、公平であり、受益者負担もない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
評価の 総括	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・業者数の減少や縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が見込まれるなか、事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
評価の 総括	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>・業者数の減少や縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が更に見込まれる。これらの対処として、業者保有機械に対する維持管理費への助成増や、雲南市所有機械台数の増を進める必要がある。今後も計画的に更新(導入)していく。</p> <p>・導入機械の有効利用のため、オペレーター確保対策が必要である。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		